

娘が1年ほど前に重病になり病院で手術を受けました。手術は成功しましたが麻酔ミスのために娘は低髄圧症候群になり術後まったく歩けない状況になりました。トイレへ行くこともまた食事をすることもできない状況でした。

娘はかただがものすごく痛くて歩けず毎日泣いていました。

後になってわかったことですが低髄圧症候群というのは脳の後頭部がものすごく強く強烈な痛さのためにまったく歩けない状況になるということです。

娘の場合は後頭部が痛いのではなく首と背中がものすごく痛くて歩けず毎日べっとへ寝ていました。そういうことで担当医も麻酔ミスではなくまだどこかからだに病巣があるものと判断なさっておられたようです。

しかし麻酔ミスの場合血液パッチというものすごい治療方法が現在存在しています。

この治療方法は成功率100%だと担当医がこれまでの経験よりすでにわかっているののでぜひこの治療方法を受けてほしいと言われました。

ところが娘はあの時と同じ先生の治療は受けたくない恐ろしい生涯私は歩けない状況になると泣きました。

手術の麻酔を担当した先生の再びの治療を娘は受けたくないと言っていますと私は勇気を持って病室の担当医に訴えました。

言いにくいことをお母さんは勇気を持って言ってくれました。そういうことはこちらもすべて承知していますから。私が直接治療をしますからぜひ受けてくださいと部長先生はおっしゃいました。

そういうことで娘も少し不安がやわらぎすぐに受けることにしました。

娘の自己血液をわずかに採取してすぐに髄液が通っている場所へその血液を入れます。その後数時間は絶対安静を保ちます。

数時間後部長先生が病室へ来られベットから歩いて部長先生のおられる場所まで来るようにとおっしゃいました。

なんと娘はベットから歩いてすぐに部長先生の場所まで行きました。

これまでのような痛みはありますかと部長先生が娘にたずねました。

まったくなくすぐに歩けますと娘は元気に言いました。

血液パッチの治療はまるでそれは魔法のような治療方法だと部長先生はおっしゃいます。

これまでの低髄圧症候群はほとんど成功100%だと言ってもいいほどだということでした。

手術は成功したまらがいなく麻酔ミスであると部長先生は認めてくださいました。

娘が元氣になればそれによし医療事故として訴える気持ちなどまったくなくとにかく娘が元氣になってほしいとそれがすべてでした。

血液パッチの治療方法は成功率100%と言っても過言ではなく素晴らしいので

この治療方法を広く知ってもらいたいさらに使ってほしいと部長先生はご発言しておられます。

インターネットで低髄圧症候群を検索するとあなたはなにを持って低髄圧症候群と決定するのかそういう病状を他の病気とどうやって見分けることができるのかと専門家の方々の厳しいご意見内容がずらりとあり私は驚きました。

この時インターネットの検索はとても恐ろしいものだとわかりました。

しかし血液パッチは素晴らしい治療方法であると私も思いました。

新しい治療方法が見つかるまでは血液パッチの治療を日本国内だけではなく世界各国へもお伝えして多くの病氣の方々に助けることができると私は思いました。その技術を世界へと発信するべきだと思いました。

そのことにより日本を少なからず恨んだり憎んでおられる勢力に対してその恨みが半分になりまたさらに減少するであろうと私は思いました。

また医学研究者の方々の国際交流にもよい結果にもなり人脈づくりにもよいのではと思いました。だれでも手術に失敗する時期もあるかと思えます。

そういうときにまた医療費削減と言われているこの頃血液パッチは成功率も高く自己血液を使うので副作用はまったくありません。

そういうことで安全性も信頼できます。

があのよう恐ろしい検索結果を見て恐ろしくなりました。

なん回も毎日低髄圧症候群を検索したのが悪かったのでしょうか。

ワードにも血液パッチの成功率がすばらしいのにほとんど利用されていないと当時部長先生はそのようにおっしゃっておられたと書きました。

またサプリメントについては私のホームページで以前に多くの商品を紹介しています。

母が糖尿病であり通院しています。

サプリメントを飲むようになってからは血糖値が下がったりからだのかゆみの激しさが減少したと詳しく書いています。

商品の名前も写真もすべて書いています。

だいたい30年ほど前からでしょうかまったく関わっていない組織から待伏せられたり尾行されたりまた観光地へ行ってもどこへ行ってもどこからか現れます。

まったく生活ができません。

毎朝換気しますが窓を開閉する行為は暗号洗脳活動ではありません。

だれからどこから命令を受けて尾行したり待伏せて飛び出したりするのでしょうか。

私たち家族は有名人ではありません。

が日本全国どこへ行ってもどこからか現れています。

数人のグループの時もあります。数十人のグループで待伏せている時もあります。

私たち家族はテロリストではありません。

またそういう勢力とはまったく関わりがありません。

すでに30年前ほどからこういう状況であり絶望しています。

悲しいことです。

だれの命令でこういうことをするのでしょうか。

私たち家族の生活圏内では毎日だれかがいつも監視をしては動きをつくりそれはまるで映画のような状況です。

奇妙な合図をする方々が多いのですがそういう合図を教えられていません。

テレビ画面も奇妙であります。テレビ画面の左上に天気予報のマークと数字が毎朝表示されます。その数字にびったりの音量にするとテレビ画面が反応します。

どういふことなのでしょう。